

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	「入居前の姿」を含めた本人に対する理解については、把握するべきポイントなどを整理して、職員が共有できる情報収集となるよう、さらなる工夫と改善をする。	入居時には、職員全員が入居予定者の人物像がイメージできるように必要な情報を集める。	次に入居する方から共通のアセスメントシートを使用し、入居する前の入居者の姿をしっかりと理解できるようにする。その情報を職員で共有しながらケアに活かしていきます。	3ヶ月
2	33	看取りケアまでの体制が整備されていると同時に、ケアする職員は医療面における不安も抱いており、ホームとしても認識している。その不安を払拭できるよう、医療面での管理について協力医療機関を通じて検討を重ね、この取り組みを継続できるよう体制を強化する。	対応する職員の精神的、身体的負担軽減。また、今以上に医療との連携を図れるようにする。	現在の協力医療機関との関係を考慮しながら、医療連携体制の構築を行っていく。また、医療面でのフォロー体制を作り、介護職員の精神的、身体的な負担の軽減を図る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。